
 本ニュースリリースは、島根県松江市と日本ユニシスの共同ニュースリリースです。
 重複して配信される場合がありますことを、ご了承お願いいたします。

2018年8月24日

島根県松江市と日本ユニシス 国内初！AIで統合された地域データとIoT技術を活用した 観光マーケティングの実証実験を開始

島根県松江市と日本ユニシス株式会社は、松江市に関連する地域データをAI技術（機械学習）によって統合し、IoT技術を活用した「人流解析サービス JINRYU®」から得られる観光客の行動及び属性データと組み合わせることで観光施策の立案を支援する実証実験を、2018年8月29日より開始します。

本実証実験では国内で初となるAIによるデータ統合の半自動化及び統合されたデータとIoTを組み合わせた分析が、現状把握の精度向上や実施した観光施策の効果測定、観光スポットの来場予測に有効であることを検証します。

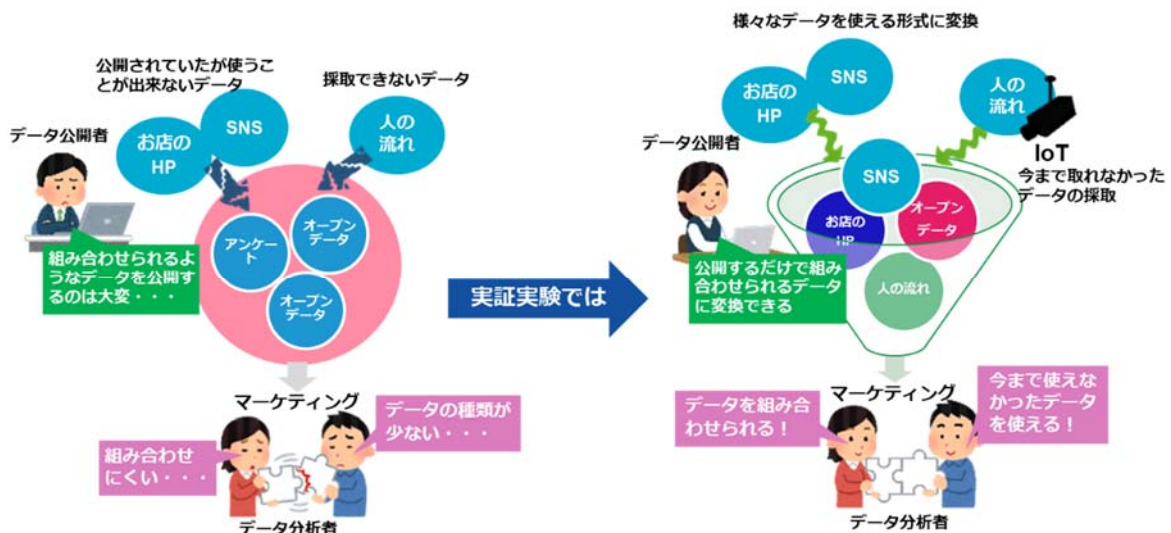
【背景と課題】

これまで自治体などで実施する観光マーケティングでは、観光スポットの来客データや観光客へのアンケート等を分析し、施策を立案してきました。分析に利用できるデータとしてはこれらの他にオープンデータ^(注1)や一般企業や個人などからWebで発信されている観光情報のようなデータが考えられますが、データ構造や表記などが多様なため、統合して扱うことが困難でした。

一般に、異なる情報源から得られたデータを統合するには、以下の手順が必要になります。

1. 収集したデータに対して「観光地」や「イベント」などの意味づけをする
2. 同じ意味を持つデータは同一のデータ構造に変換する

上記手順を多量かつ大量のデータに対して手動で実施するのは困難なため、自動化することが求められます。加えて、観光客が実際にどう移動したかなどのデータについては、十分に取得、活用できていない状況でした。そのため、より有効な観光マーケティングを実施するには、従来は使うことが難しかった・できなかったデータが統合され、分析できる形に変換されていることが望まれています。



【実証実験の概要】

松江市は、国宝松江城や宍道湖、松江歴史館などの豊かな観光資源を有し、松江市に關係する統計データや統計関連図書の情報のオープンデータ化や、「松江G空間ミュージアム^(注2)」の開設など、データを活用した地域活性化の先進的な取り組みを推進してきました。また、日本ユニシス総合技術研究所では、「幸福度ランキング^(注3)」や美術館の来館者分析といった、地域の見える化に取り組んできました。今回の実証実験では、松江市が持つ観光資源や情報発信力と日本ユニシスの技術力を組み合わせ、データを活用した観光マーケティング方法の確立を目指します。

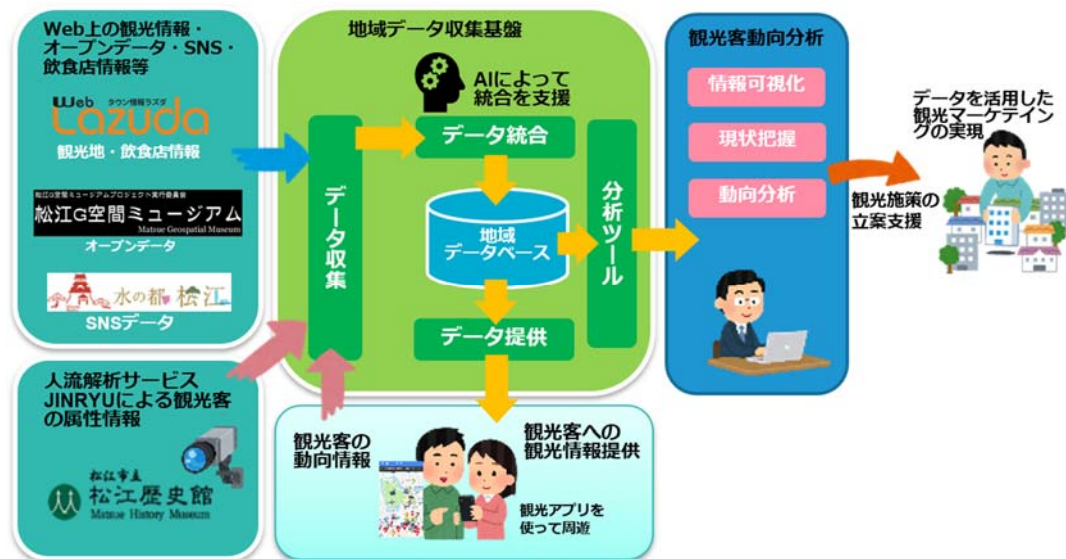
・ 場所：松江市内^(注4)

・ 期間：2018年8月29日（水）～2018年12月20日（木）[予定]

・ 内容：

松江市のオープンデータ、タウン情報 Web サイト「Lazuda（ラズダ）」^(注5)、SNS データ^(注6) などさまざまな機関から Web 上で発信されている松江市の地域データと、日本ユニシスの「人流解析サービス JINRYU」によって採取された松江歴史館内の行動および属性データを地域データ収集基盤によって統合し、活用できる形式に変換します。変換には AI を活用しており、収集されたデータのデータ構造、単語表記の自動的な統合を実施しています。今回は、それらの変換されたデータをデータ分析者が分析して施策立案者に提供します。具体的には、以下の分析を想定しています。

1. 集約した地域データを、Web アプリケーション（以下 アプリ）にて地図情報とあわせて観光客にワンストップで提供します。アプリは観光客の松江観光を支援するだけでなく、利用者の位置や参照した情報を収集することで、観光客の動向把握や施策の効果測定します。
2. 集約した観光情報と、「人流解析サービス JINRYU」で収集・解析した松江歴史館来場者数および来場者の年齢、性別、動線情報から、松江歴史館の来場者予測に寄与する相関関係を求めます。



【今後の展開】

松江市と日本ユニシスは本実証実験を通じて得られた知見を基に、地域データの収集・活用と施策の効果測定を円滑に実行できる仕組みをつくり、データに基づく観光マーケティングの継続した実施を目指します。また、日本政府提唱の Society5.0 や官民データ活用推進基本法が示すように、自治体のオープンデータだけでなく、一般企業や個人から公開されたデータや IoT によって得られたデータを分野・業界を横断的に組み合わせ、施策立案や機会創出へ活用することが期待されます。観光分野のみならず、防災や少子化などの社会課題にも本実証実験によって得られた知見の活用が可能と考えます。

以上

■人流解析サービス JINRYU <https://www.unisys.co.jp/solution/tec/iot/bp/bp01.html>

人流解析サービス「JINRYU」は、カメラに接続した小型コンピュータ上で、撮影された映像上の人物や顔を認識し、その人物の動線や顔から推定した年齢・性別の情報を日本ユニシスグループが提供する「IoT ビジネスプラットフォーム」上で可視化・分析するクラウドサービスです。

※JINRYU は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

注 1：オープンデータ

著作権や特許などの制御メカニズムの制限が一切なく、誰もが自由に利用・再利用でき、かつ再配布できるようなデータのこと。

注 2：松江 G 空間ミュージアム <http://g-museum.matsu-reki.jp/>

古地図や絵図、写真などのデジタルアーカイブされた資料を次世代に継承し、一般・地域の方に分かりやすく、活用しやすい環境を提供する歴史資料の新たな活用モデルの構築を目指すプロジェクト。本実証実験では、「松江 G 空間ミュージアム」で公開しているデータのテキスト部分をオープンデータとして利用しています。

注 3：幸福度ランキング <http://www.unisys.co.jp/com/publication/books.html#book25>

日本ユニシス総合技術研究所が協力する「全 47 都道府県幸福度ランキング」は、地域の幸福度を測るため最大 65 の指標で 47 都道府県、20 政令指定都市および 42 中核市を対象として分析、ランキングを算出しています。

注 4：松江市内

松江駅や松江城、塩見縄手周辺を予定しています。

注 5：タウン情報 Web サイト「Lazuda」 <http://www.lazuda.com/>

本実証実験では松江市の観光地・飲食店情報を株式会社メリット様運営のタウン情報「Lazuda」の Web サイトより情報を提供していただきます。

注 6：SNS データ

松江観光協会様運営の Twitter アカウント「あっぱれ松江観光情報」より情報を提供していただきます。

あっぱれ松江観光情報 https://twitter.com/kankou_matsue

※掲載のニュースリリース情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。